

6次総の市長マニフェスト基本政策部分の取組内容報告書(平成24年10月末現在)

政策	私の想いと政策の目的	具体的な政策内容	これまでの取り組み状況 (H24.10.31時点)	担当課
1 元気なまちの担い手である「人財」育成をさらに進めます。	トヨタ自動車の人材育成施設の誘致で再認識したことは、多治見が虎渓山永保寺や神言修道院のように人を育ててきたまちだということです。特に、市全体で総合的な人材育成・こども政策を進めます。	① 引き続き中学校3年生での30人程度の学級編制を継続します。	①陶都中学校2人(社会、英語)、多治見中学校2人(国語、数学)、小泉中学校2人(共に英語)、南ヶ丘中学校1人(美術)、北陵中学校2人(社会、体育)、南姫中学校2人(国語、英語)、笠原中学校2人(社会、英語)の13人を配置し、3年生において30人程度を実現。 ②1年生は県独自基準である上限35人学級を実施、2年生への導入については、国・県の動向を見据え検討。	教育推進課
		② 幼稚園・保育園・小学校・中学校で「脳トレ」、新たに「体カトレ」に取り組みます。	①「体トレ」に関するリーフレット、情報誌を公立全保育園、幼稚園、小・中学校保護者に配付。 ②公立保育園、幼稚園において握力、立ち幅跳び、ボール投げの3種目について1回目の体力テストを実施済み、2回目を11月に実施予定。 ③小学校において「たじみ技能検定スタンダード」(縄跳び版)を実施中。 ④文部科学省の委託を受けて幼児期における運動のあり方について調査研究を始めた。 ⑤「いきいき遊び」「脳活学習」で育む自尊感情を把握するため自信力向上研究会を立ち上げ、自尊感情の高まりについて調査・研究を実施。	教育研究所
		③ 障がいを持った子どもたちの支援を進めます。	①就学指導委員会を2回開催(3回目は11月に開催予定)。 ②キキョウスタッフ配置 小学校29人 中学校3人。 ③学校福祉相談員(スクールソーシャルワーカー)を1人嘱託員として配置、1人を緊急雇用で配置(実績6月、7月の2ヶ月間)。 ④支援が必要な児童生徒を把握することによりキキョウスタッフの配置を決定。 ⑤通常学級に在籍する児童生徒への支援のあり方を研究すると共に、個別支援計画の作成を進める。 ⑥幼稚園・保育園では就学支援シートを作成、要録とともに進学する学校へ引継。 ⑦インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進すべく、教育基本計画作成の重要な視点として位置付ける。	教育推進課
		④ 様々な市民活動を担う「人財」育成を支援し、ネットワーク化を進めます。	【文化スポーツ課】 指定管理者、体育協会と連携し、「人財」を育成し、「人財」を活用した事業を展開。 ①地域団体や市民との交流・連携事業を実施。 オープンキャンパスを実施。【前期実績】143講座 1,749人受講。 ②小学校対象「おながのたね」中・高校対象「だんすのたね、えんげきのたね」を実施。 各公民館で「ミュージックトレイン」「たじみ演芸サロン」を実施。 ③指導者養成講習会(体育協会)を行い指導者バンクを充実。 定例会や研修会でスポーツ推進委員の資質向上を図る。区役員交流会を実施し、スポーツ推進委員が指導。	文化スポーツ課 くらし人権課
		⑤ 市職員の研修を充実させ、さらに政策立案能力を高めます。	【くらし人権課】 市民活動交流支援センターを学習館6Fに移転し、あらゆる団体、市民が立ち寄りやすい環境を整備。 ①10月2日に、新センターとしてリニューアルオープン。 ②あらゆる市民活動団体の情報を収集。 ③各団体の情報を提供し、新たな活動となるよう支援。 ④リニューアルオープン記念事業として、記念事業を10月13日に実施し60名参加のもと、人材育成を支援。 ⑤平成26年4月からの次期指定管理について、評価委員の意見、指定管理検討委員会等の意見を踏まえ検討中であり、平成25年度の庁内会議等に付議後、決定していく。	人事課

政策	私の想いと政策の目的	具体的な政策内容	これまでの取り組み状況 (H24.10.31時点)	担当課
2 元気なまちに不可欠な産業を育てます。	産業の振興は、多治見の元気にとって不可欠です。大切な地場産業の振興とともに、新たな企業の誘致、陶磁器を核とした観光の振興などに取り組みます。	① 山吹、旭ヶ丘テクノパークに続き、郊外での企業誘致を進めます。	①次なる事業用地の可能性調査の一環として、候補地における道路概略検討を実施中。 ②トヨタ自動車㈱多治見サービスセンター、アマゾンジャパン・ロジスティクス㈱、トヨタ紡織㈱が速やかに操業等できるよう、事務手続きや地元調整等について企業立地支援中。アフターフォローの一環として地域資源(人財を含めた)活用について働きかけている状況。これらを通じて、次なる企業誘致へつなげていきたい。	企業誘致課
		② 日帰り観光で集客をはかります。	①「多治見ものがたり」の改定版を25,000部作成。東京、名古屋などの大都市や岐阜県、県観光協会の各種観光PRイベント、情報提供会、商談会に参加。 ②うながっぱ隊を中心に浦和のウナギ祭り(5月)等各地のイベント(飯田、神戸、宝塚、砺波、彦根)にてPRを実施。うながっぱ団扇8,000本を作成し、多治見駅での熱中症予防の啓発、夏のイベント、大都市圏等市内外での観光PRに使用。 ③第2回美濃焼祭を10月6・7・8日に開催。ながせ商店街、本町オリベストリート、多治見橋夢広場での催事により、中心市街地への集客を図った。 ④新観光大使として鈴木ちなみ氏を委嘱。(11月7日) ⑤東濃ぐるりん観光委員会で、東京都庁や四水会において東濃5市による観光PRを実施。土岐プレミアムアウトレットで開催された美濃飛騨楽市楽座に参加(9月)。豊田総合体育館でのイベント出展、豊田スタジアムと幸兵衛窯の連携による美濃焼製品のPRを実施。 ⑥ミュージアムショップを充実させ、大都市の陶芸教室、茶道教室へのダイレクトメール等によるPRを実施。美濃焼祭と同日開催された美濃陶芸協会による美濃大茶会、JRさわやかウォーキングに協力。ボランティアガイドを対象とした講座を開催。 ⑦豊田市、陸別町、掛川市等との連携について具体的事業を立案中。	産業観光課
		③ 中国などアジアからの観光客の誘致に取り組みます。	①昇竜道プロジェクトへの参画。会議、講演会等に出席。 ②観光PR動画撮影を業務委託し、撮影・編集を進行中。 ③台湾ロータリークラブや南京の小学生を誘客。 ④銀聯モール及び中国商談会への美濃焼出品決定。観光PR動画用に撮影した動画の一部を銀聯モールに提供。	産業観光課
		④ 環境産業としてのタイルや陶磁器の育成を支援します。	①平成25年1月に東京ドームで開催される「テーブルウェアフェスティバル2013」、同年3月に東京ビッグサイトで開催される「建築建材展2013」等、大都市圏での展示会出展に対し支援・協力を実施中。 ②「美濃匠の会」のテーブルウェアフェスティバルへの出展決定。	産業観光課
		⑤ 意欲のある事業者・起業家を支援します。	①企業お見合い:10月19日開催、発注企業72社参加(89社申込)、受注企業87社参加(97社申込)、商談数248。 ②「き」業展:114の出展者(136ブース)による展示会のほか、企画イベントとして、ビジネスセミナー、親子工作教室等を開催予定。 ③起業支援ルーム:6月26日審査会にて2件申請・1件合格(8月入居)、10月30日審査会にて1件申請・1件合格(1月入居予定)、10月末時点、9室中8室入居中。	産業観光課

政策	私の想いと政策の目的	具体的な政策内容	これまでの取り組み状況 (H24.10.31時点)	担当課
3 環境にやさしく、安全・安心なまちづくりを進めます。	40.9℃という日本最高気温で有名になりました。一方で、市民が安心して暮らせるために、高気温対策を進めるとともに、医療の充実など安心して暮らせるまちづくりが必要です。	① 水と緑にあふれた市街地をつくります。	<p>【環境課】</p> <p>①「緑のカーテン」として6月に市民(2千人)、公共施設(2,000ポット)へゴーヤを配布。 ②第2次環境基本計画の前期計画(平成21年度～24年度)の総括及び課題出しを実施。温暖化対策や生物多様性の取り組みを拡充した後期計画を検討中。 ③学習館にAI機器を導入し7月以降稼働。笠原中央公民館に太陽光発電を設置予定。 ④6月29日に気温観測報告会を開催し、7～9月に定点観測、集中観測を実施し、暑さの原因を調査中。</p> <p>【緑化公園課】</p> <p>①大正町においては、大正公園の植栽再整備を設計中。季節感の演出やボランティアが活躍できる花壇など、公園にふさわしい植栽を近隣者・自治会と協議中。 また、白山町では、白山児童遊園の土壌改良と植栽整備を設計中。地元意見を取り入れて、駅北に連続する緑の空間を整備予定。平成24年度と平成25年度の2ヵ年計画。 土岐川沿いのサクラ植栽箇所については、土岐川右岸の前畑町3丁目(大原川合流点)を候補地として国土交通省と協議中。</p>	道路河川課 緑化公園課 環境課
		② 新市民病院を建設し、医療の確保をします。	<p>① 新病院が6月30日に完成(地上7階、地下1階 免震構造)。7月14日、15日の竣工式、内覧会を経て、8月1日から新病院での診療開始。 ② 旧病院を解体中(解体後には、駐車場整備工事等を行い、全工程を終える見込み)。 ③ 新病院での診療では、患者数、救急搬送とも増加傾向にあり、順調な滑り出し。 ④ 新病院開院に合わせて土曜日(午前のみ)の診療を開始。 ⑤ 同時に、地域連携課長を配置し、地域医療連携を強化推進。</p>	医療整備課
		③ 子どもの医療費は財政状況を見ながら拡充を目指します。	<p>①平成24年7月1日から助成対象を小学6年生まで拡大。 ②今後は、財政状況を踏まえ、可能な限り早期の拡充(中学3年生)を目指す。 ③すべての子どもが同様のサービスを受けられることが望まれる施策と考え、国による子ども医療費助成制度創設を要望。</p>	保険年金課
		④ 候補地の皆さんと協議しながら、新しい火葬場の建設を進めます。	<p>①地元説明会(5月大藪町第5町内、6月第30区)や先進地見学会(6月)を開催。 ②地元対策委員会を開催し、要望書対応や建設に関する総合的な課題を協議。 ③環境アセスの継続(春、夏、秋季)。 ④地形や用地測量(7月～)。 ⑤用地測量や補償算定業務(8月～)。 ⑥都市計画決定手続開始。 ⑦市検討委員会の開催(8月)。</p>	環境課
		⑤ 消防・防災の体制を強化し、災害に迅速な対応をします。	<p>【企画防災課】</p> <p>① 災害対策本部事務の分担任務の見直し(7月)。 ② 水防訓練参加者(5月)、救命講習参加者(10～11月)に規律訓練を実施。 ③ 地球村、総合福祉センターに防災倉庫を設置予定(今年度中)。 ④ 市立小中学校(21校)でPTAの協力を得て'土のう'を作成・保管。 (6～11月に実施し、合計5,300袋) ⑤ 災害流出土砂処理に関して引き続き協議し、方針策定。 ⑥ 大規模災害時における市税の減免についての考え方について政策法務委員会に付議し、結論付けた。</p> <p>【消防本部】</p> <p>①平成24年度12月補正予算に計上し、年度内に解体撤去後、敷地を市に移管する予定。 ②消防団と協議した結果、平成24年度内に募集して平成25年4月1日から教育訓練を実施、同年9月1日発足予定。 ③11月15日納入予定 11月22日配備予定。 ④維持管理については南署・笠原署管内実施済み。 ⑤毎月2回救急救命士による口頭指導検証会を実施し、実態に即したマニュアル作成中。平成25年1月から運用予定。</p>	消防総務課 予防警防課 通信指令課 企画防災課

政策		私の想いと政策の目的	具体的な政策内容	これまでの取り組み状況 (H24.10.31時点)	担当課
4	利便性の高い「多治見」をつくります。	中心部の渋滞解消は長年の課題です。また、駅周辺のまちづくりをどうするのかも大切です。特に駅の周辺のまちづくりは、行政のみではなく、市民の力が必要です。	① 県とともに国道248号線(市民病院周辺)の渋滞解消に努めます。	①改良後の車の流れに関して現地確認済。 ②県道武並土岐多治見線の渋滞を解消するための道路拡幅を早期実施を要望中。	道路河川課
			② 旧国道248号線(多治見インター出口〜ピアゴ)の道路拡幅を4年間で完成させます。	①施工区間(コンビニ〜住吉交差点)においては、国体開催前に4車線化完了。 ②年明けに植栽及び障害者誘導表示の設置予定。	道路河川課
			③ 駅南口周辺の民間のまちづくりを支援します。	①多治見市として支援可能なプランを策定するため、庁内検討会議を開催。 ②今後は、庁内検討の状況を踏まえ、市としての方向性を決定予定。	都市政策課 (都市計画決定後は区画整理課)
			④ 駅北地区の公共施設を整備し、市民の利便性の向上とまちのにぎわいに寄与します。	①16街区に整備する公共公益施設の周辺環境を整えるため、隣接する18街区の宅地及び区画道路整備、特4.5-1号(歩行者専用道)の整備、駅北口からの仮設歩道の整備を実施。	区画整理課
			⑤ 保健センターや市役所分庁舎の駅周辺整備について検討を進めます。	【総務課】 ① 平成25年3月の用地取得をめざし、協議を進めているところ。 【企画防災課】 ① 平成24年11月に、駅北地区公共公益施設の整備内容をまとめた「多治見駅北地区公共公益施設基本計画」を策定。 ② 戸籍及び住民票の移動に伴う手続をベースに窓口の総合化について関係課で協議中。 ③ 27街区立体駐車場の建設主体、規模等についての概ねの方針を平成25年3月までにまとめていく予定。 ④ 駅北地区公共公益施設3階フロアを、『次世代育成、親育ち4・3・6・3』を実現する『健康づくり・次世代育成フロア』として、いかに連携を深化させ、一体感を創出させていくかを検討するWGを設置。 【五大プロジェクト建設事務局】 ①平成24年7月に基本設計をまとめ、平成25年2月末の完了をめざし、詳細設計をすすめているところ。 〔多治見駅北地区公共公益施設の建築概要〕 ・規模…地上5階、地下1階 ・構造…鉄骨鉄筋造(一部鉄骨造) 免震構造 ・延床面積…10,000㎡程度(地上部分 7,500㎡程度)	企画防災課 (五大プロジェクト建設事務局)
5	計画行政を進め、市民参加の市政運営を目指します。	行政に期待される役割は大きくなっていく一方で、必要なお金は十分ではありません。こういう時代は、計画に沿って政策を実行することが大切です。また、その計画を立てるときや実行するとき、多くの皆さんの参加も重要です。	① 一層の行政改革を行い、政策の優先順位を明確にします。	① 第6次行政改革を着実に進行し、本年度末に4年間の成果を総括する予定。 ② 第7次行政改革大綱の策定に向けて、各検討会を立ち上げ議論を実施するとともに、行政改革懇談会において議論いただいた。事務事業見直しについては、パブリックコメントを実施中(10月25日～11月24日)。 ③ 総合計画の事業進行や予算に関する協議を行う総合計画ヒアリングにおいて、事業課と政策の方針や優先順位を確認するなど翌年度以降4年間の事業計画を検討。	企画防災課
			② 政策の実行段階でも市民の皆さんが参加できるような仕組みを拡充します。	①総計後期計画から施策評価シート内に「市民参加の方策」の欄を新設。平成24年度末ごろに総合計画の事業評価を実施し、市民参加について確認するとともに次年度の目標を設定する予定。	企画防災課
			③ 市民の委員会を組織し、『市民目線』で市の事業を見直す機会を設けます。	①第7次行政改革大綱の策定にあたり、有識者、市民等で構成する行政改革懇談会を設置し、市民目線による「行政の改革」や「事務事業の見直し」について議論を実施。	企画防災課
			④ まちづくりなど多様な分野でNPOやボランティアが活躍できる仕組みを作ります。	①「多治見市まちづくり活動補助事業」を推進し、「新しい公共」事業の概念を広めるよう取り組みを進めており、ソフト事業9件が実施済。 ②事業のPR紙を制作し配布、東濃アプリ、ユーストリームを使っのPRを実施。 ③決定事業と関連課の連携を支援(産業観光課、福祉課など) ④本町オリベストリートの空店舗に、10月5日(金)さあくるカフェオープンを支援し、賛同した団体が連携して活動を展開中。 ⑤「新しい公共」事業(多くの団体の協働事業)を行い、多治見市全体の催事に貢献するとともに、②のとおりPR紙の制作配布、東濃アプリやユーストリームを使ったPRを実施。 ⑥「新しい公共」の概念として、市民活動団体、NPO、民間企業、行政組織などの協働できる体制を今後も広めていく予定。	くらし人権課
			⑤ 議会との対話、議論を進め、市民の信託に応えます。	① 公共施設整備研究会を駅北地区公共公益施設建設特別委員会に改組していただき、議論していただいた。	企画防災課